

Q

# 憲法の観点を活かす 行政に

おおた 太田 ただよし 忠芳 議員



A

# 果たすべき役割を適切に果たして いきたい

# 市の考えを問う 一般質問

3月15日・16日・17日の3日間行  
われた一般質問の主な質問（Q）  
と答弁（A）の概要を掲載します。



問

コロナ危機は私たちの社会  
のもろいところを浮かび上がら  
せた。非正規の働き方を強い  
られてきた多くの女性が雇止め  
に遭って路頭に迷うなど、女性の  
自殺が深刻な社会問題になっ  
ている。コロナ危機を克服でき  
た後には、これまでと違う質の社  
会でなければならぬのではな  
いかと考えるが、生存権、幸福  
追求権などを保障する憲法の観  
点から、職員体制、財源確保の  
問題などにどのような対応をす  
るのか。

化などによる広域化・共同処理  
などによって対応した上で、適  
切な組織体制の構築、定員管理  
を進めていく。

財源確保については、国の新  
型コロナウイルス感染症対応地  
方創生臨時交付金を活用した上  
で、財政調整基金や一般財源も  
含めて対応をしていきたい。ま  
た、市民を守るためにスピード  
感を持って対応していきたい。

問 新型コロナウイルス感染症  
の影響で外出自粛が続いている。  
活動時間が減少し、心身の機能  
が低下すると要介護の手前の状  
態であるフレイル（虚弱）に陥  
りやすくなる。現在は、ソーシ  
ヤルディスプレイの確保を前提  
とした対策が求められているた  
め、オンライン等でのコミュニ  
ケーションを進めてはどうか。

足による健康二次被害は、全世  
代共通の課題である。現役世代  
に向けて、フレイルの情報を発  
信する考えは。

答 保健師等が地域に向いて  
行うフレイル予防講座や訪問相  
談等を実施しており、令和3年  
度からは、9人の市民フレイル  
サポーターが各市民センターで  
フレイルチェックを実施する。

これからは、直接会わない形  
での社会参加が新しい交流の手  
段となる。そのため、高齢者が  
インターネットの利用方法を学  
ぶ機会の提供を検討していく。

答 非正規労働の問題の一つと  
なるワーキングプアには、雇用  
の面と、生活をして働く状況を  
整える福祉的な面の二つの施策  
が支援につながるのではないかと  
考えている。

また、職員体制については、  
人材の育成、アウトソーシング、  
ICT技術の活用、業務の標準



本年1月末、つるゴンのうた  
プロジェクト実行委員会からつ  
るゴンに対して、「鶴」が制作し  
た曲が贈られた。曲には簡単な  
ダンスが振り付けられているた  
め、保育園、学校、高齢者施設  
等で普及を図る。フレイルの関  
連でも効果があると考えている。

A

# 新しい交流の手段を検討し フレイル予防を進める

Q

# コロナ時代の フレイル対策

おおの 大野 ひろこ 洋子 議員

